

○岩手大学三陸水産研究センターにおけるサクラマス海面養殖プロジェクト

○養殖研究でのノウハウを活かし、地域における海面養殖事業化研究へ

令和2年に釜石湾でサクラマス養殖に取り組むため、釜石市や岩手大、地元水産会社が参画した研究開発コンソーシアムを結成。

令和4年に漁業権を取得し事業化したことで、令和5年度は飼育生け簀を増設して生産規模の拡大を図ったため、令和4年度の5.4倍、約160トンの水揚げがあった。

令和5年11月から新たに両石湾でもサクラマスの試験養殖が開始され、さらに地元での販路拡大を図るため、釜石はまゆりサクラマスの一体的なプロモーション活動を行うための産学官によるコンソーシアムの活動にも注力していく予定。



両石湾での養殖サクラマス稚苗の収容作業

○釜石キャンパス(農学部食料生産環境学科水産システム学コース所属)の学生が地域で主体的に取り組むプロジェクト

○移動水族館&タッチプール

市民と学生の交流を目的に実施。特に児童・生徒には、海を身近なものに感じてほしいとの願いから学生グループが自ら企画立案し運営に取り組んだ。

今年度は釜石市民ホールTETTO、イオンタウン釜石、釜石市役所、中妻校公民館を会場に、延べ22日間実施し、200名以上の来場者があった。

○浜のお母さんに学ぶ郷土料理教室

学生が市内の漁協女性部の方々から、魚さばきと郷土料理を学ぶ料理教室を実施。釜石の豊かな海と美味しい食材に触れ、市内・県内の水産関係企業への就職のきっかけづくりへ導く。

令和6年度も学生主体のプロジェクトを通じて、地域と釜石キャンパスをつなぐ取組を推進していく。



タッチプールに参加した子供に生物の説明をしている学生